

手当名	国における支給内容	法人における支給内容 (国と異なる点)	当機構の考え方
俸給の特別調整	<p>管理又は監督の地位にある職員に支給するものであり、民間でいう管理職手当に相当するが、民間企業では役職の職責手当は基本給とは別に定額で定めているのが一般的である。以前、国においては俸給月額に区分ごとの支給割合を乗じて支給する定率制となっていたため、昇級に連動して手当額が累進し、同じ役職であっても経験年数の差に応じて手当額に大きな差が生じるなど、年功的な要素の強い仕組みとなっていた。このような年功的な要素を排除し、管理、監督の地位にある職員の職務・職責を端的に反映、評価すべく、国は、平成19年4月から、職責に応じた定額制を導入している。</p>	<p>俸給月額に支給割合を乗じて支給額を算定する定率制を採用している</p>	<p>当機構では、職員の殆どを内外の民間企業等の出身者が占める中で、能力主義を採用し、年齢や勤続年数にかかわらず適材適所の配置を行う等、国や他の独立行政法人と比較して、特徴的な人材活用を行っている。このため、処遇についても、全ての職員について、当初から年功的賃金ではなく、担当する職務・職責や年度ごとの人事評価の考課ランクに応じた賃金を支給している。さらに、いわゆる年俸制を適用している任期制職員が全体の9割程度を占めており、それらの職員の給与制度との均衡を図る観点から、月給制を適用している定年制職員の俸給に関しても、個々の支給項目ではなく、支給総額が前述の職務・職責・考課結果に照らして適切であるかどうか判断される必要がある。これらの点からすると、能力主義を人事の基本方針とする当機構においては、役職の職責手当を定率とすることに合理性があるものと考えている。</p>
住居手当	<p>借家・借間又は自宅に居住する職員及び単身赴任手当受給者であって配偶者等が借家・借間に居住する職員に支給するものであり、国においては、借家・借間居住職員（月額12,000円を超える家賃を支払っている職員）に対しては最高27,000円まで、自宅居住職員に対しては2,500円（自宅の新築・購入から5年間に限る）と支給額を定めている。</p> <p>なお、平成21年8月11日の人事院勧告において、国は、自宅に係る住居手当（新築・購入後5年に限り支給、月額2,500円）は廃止するよう求められているところである。</p>	<p>国より高い支給額：任期制職員が負担する家賃（2台までの駐車場料金及び居住維持費を含む）の月額5分の4に相当する額（各々の研究を統括する立場にある代表研究者の月額の上限は160,000円）を支給</p>	<p>優秀な研究者の獲得をめぐる国際競争は大変厳しい状況にあり、世界最高水準の大学院大学の設立に向けて国際的に卓越した資質と能力を有する人材を獲得するためには、当機構の中期目標において示されているとおり、国際的に競争力ある人事・処遇制度を構築する必要がある。したがって、住居手当の支給についても、海外における研究者の住宅事情を勘案し、教授クラスの優秀な研究者が住むのにふさわしい待遇を提供する必要がある。沖縄の当機構周辺の借家事情は、東京やその他の大都市圏のように多様な物件が豊富にあるわけではなく、特に外国人向けの住居は数も限られており、家賃は大都市圏と比べて一般向けのように大幅に低廉というわけではない。月額16万円が上限の住居手当については、研究の統括をする「代表研究者」（大学の教授以上に相当）に対する手当であり、この金額は、当機構周辺にある外国人向け住宅の家賃相場を詳細に調査した上で決定したものである。さらに、代表研究者は、例外なく5年の期限付き雇用（任期制）であり、大半は海外に住居を残して赴任してきており、したがって、雇用期間の期限がない（定年制の）国家公務員に対して支払われる住居手当と単純に比較することは出来ない。なお、定年制職員に対しては、国家公務員と同額の上限月額2万7千円の住居手当を支給している。前記の内容は、本年2月、内閣府独立行政法人評価委員会分科会にも報告している。</p> <p>また、自宅居住職員に対する月額2500円の住居手当は廃止した。</p>
期末手当（期末特別手当）、勤勉手当	<p>期末手当は、民間における賞与等のうち定率支給分に相当する手当として6月1日及び12月1日に在職する職員に支給するものであり（指定職俸給表の適用を受ける職員は期末手当の代わりに期末特別手当を支給）、また、勤勉手当は、民間の蹴る賞与等のうち考課査定分に相当する手当として6月1日及び12月1日に在職する職員に勤務成績に応じて支給するものである。</p>	<p>職務別加算や成績率の支給割合や、支給額算定方法が国と異なっている</p>	<p>当機構の期末手当は、業績評価及び能力評価から成る人事評価制度による5段階の考課査定結果に基づいた本給に連動して決定されており、このため国の期末手当及び勤勉手当双方を包括したものとなっている。</p>

シーサイドハウス施設について

開催日	期間(日数)	参加者数	シーサイドハウス 宿泊者数	シーサイドハウス のべ宿泊者数	イベント名
OIST主催					
2009年5月13日-15日	3	41名	17	65	国際ワークショップ「量子力学の基礎と応用」
2009年6月15日-7月2日	18	55名	37	702	国際サマースクール 「沖縄計算神経科学コース2009」
2009年9月8日-10日	3	33名	10	37	国際ワークショップ「強化学習の脳神経メカニズム と注意欠陥多動性障害(ADHD)」
2009年11月2日-7日	6	37名	19	132	国際ワークショップ「DNAトポロジー」
2009年11月9日-12日	4	57名	33	130	国際ワークショップ 「網膜: 神経幹細胞と光受容体の変性」
2009年11月29日-12月2日	4	72名	30	121	国際ワークショップ 「第4回分裂と停止の細胞制御」
2009年12月7日-12日	6	46名	28	194	国際ウインタースクール 「生物複雑系の進化コース2009」
2010年2月23日-25日	3	21名	0	0	国際ワークショップ 「ガルーダ・ワン」
OIST協賛					
2009年5月25-27日	3	46名	12	36	協賛ワークショップ 「ニューロコンピューティング研究会」
2009年6月5日	1	40名	0	0	(協賛)ワークショップ「並列生物情報処理イニシ アティブオープンワークショップ in 沖縄2009」
2009年12月15日-17日	3	45名	30	120	(協賛)ウインタースクール 「生体計算モデル」
2010年1月29日-2月2日	6	57名	22	132	(協賛)学会 「第5回日中友好幾何学交流会」
合計	60	0	238	1,669	

●機構の施設内に宿泊施設を有する理由:

機構で主催するワークショップやセミナーは、国際的な科学者の参加を得て行われ、その研究テーマや講演資料・データに対応する必要があり、また学生と教員との間の集中的なやり取りが行われるものであることから、一般的な民間の宿泊施設においてサポートを提供することは困難である。上記のような条件に対応するには、アカデミックな環境に特化した施設が最適である。シーサイドハウスは単なる宿泊施設ではなく、世界最高水準のパフォーマンスを実現する環境を提供する本機構の基盤となるアカデミックな施設である。

ホーム

OISTについて

ニュースとイベント

研究と教育

リンク

Home ▶ OISTについて ▶ 寄付金のお願い

 Web
 www.oist.jp

ホーム

寄付金のお願い

OISTについて

理事長の挨拶

OISTの活動を支援する理由

沿革

OISTは、国内外の一流の研究機関との間で緊密に連携を取り合い、人々が健康で、豊かな社会を実現するために貢献し、そして遠くない将来、生命科学の分野で研究及び革新的な発明をリードする世界的な研究機関の仲間入りを果たすでしょう。

運営体制

事業の内容

私共は、縦割り型の科学的専門分野の壁を壊し、統合された科学的なアプローチに重点を置きます。多分野にわたる研究ユニット、共有資源、そしてラボ及び事務スペースのレイアウトにいたるまでこのOISTの基本的なデザインとなっております。

公開情報

キャンパス

OISTとその研究者は最高のテクノロジーと設備を開発し使用することを熱望しております。革新的な科学的装置とサービスまたはプロバイダーは、OIST及びその動機付けされた優秀でそして既定概念にとらわれない他分野から集まったチームを思想的な実験の場として見いだすことでしょう。また同時に、OISTへの寄贈者や支援者は、未開拓の分野の発見と融合を促し、明のあるプロジェクトへのサポートを行うこととなります。

シーサイドハウス

アクセスマップ

またOISTはその大学院生に対し先進的な研究及び、従来型の縦割り組織ではなく柔軟で融合された組織を提供することで、間の世界で成功モデルを生み出すことに努めてまいります。

寄付金のお願い

ここは既に、大学院大学を通し、英語を共通言語とした、日本、アジアそしてその他の世界に開かれた完全に国際的な環境としてより経験のある研究者は、OISTを真にユニークで、かつ名声のある大学または産業界が求める科学的、知的スキルを出来る場所として位置づけております。

カレンダー

ニュースとイベント

強固なR&Dに関心を持つ国際的な組織には、OISTで得た経験によりカウンターパートとの間の関係に貢献することが期待可能な将来の協力者を訓練する比類なき場所として、OISTをご支援、後押ししていただくことを期待致します。OISTとその国際人はラボ、ソフト及びコミュニケーションにおける新しいテクノロジーの理想的な実験の試みであります。

研究と教育

研究者及びその家族への援助は重要で、移転時の補助、子供への支援、学校、文化体験、言語研修及び通訳、そして寄附ご厚意及び有志によって提供されたその他の支援など様々な形で表されます。OISTは既に50カ国以上から研究者が集まるの方々、研究活動や将来傑出した経験と国際的な人的つながりをもって帰国する学生や研究者に直接支援を望まれません。

リンク



OISTは沖縄経済の転換を促す使命を持っており、そして私共の研究活動を沖縄における事業及び産業クラスターの創出を指しております。OISTは確固たる意志を持った勇敢な投資家、そして革新的で起業精神あふれる研究者と構築していくことを確約いたします。

沖縄経済財界及び国内投資家の皆様には才能を持った新しい、そして国際的な人材を魅了するニューエコノミー及び豊かな者としてOISTの立ち上げに是非ご参加いただきたいと考えております。

お問い合わせ窓口

OISTの創業と成功のため、寄付金又は現物贈与によるご支援にご関心をお持ちの個人の方、または企業等のご担当者はお問い合わせ窓口

吉川 武晴

Mail : ext.funding#oist.jp

メール送信の際は、#を@に置き換えて下さい。または098-966-8711までご連絡ください。

(講演)

No	プログラム	日付	場所	主催	内容	講演者	備考
1	OIST講演会	2009/4/15	恩納村総合保健福祉センター	OIST	①OIST概要(理事)、②佐藤先生講演(わした美ら海)	①ロバート・バックマン理事 ②佐藤矩行博士	100名
2	在沖米国商工会議所総会	2009/4/3	ラグナカーテンホテル	在沖米国商工会議所	OIST概要	ロバート・バックマン理事	50名
3	那覇商工会議所講演	2009/6/24	沖縄ハーバービューホテルラウンジ	那覇商工会議所	沖縄科学技術大学院大学の将来のビジョンについて	ロバート・バックマン理事	100名
4	アジア青年の家 OIST訪問プログラムの一環	2009/8/19	沖縄県工業技術センター	内閣府	研究紹介	佐藤矩行代表研究者	75名
5	アジア青年の家オープンセミナー講演会	2009/8/22	沖縄県自治会館	内閣府	講演会「脳をつくることで理解する」	銅谷賢治代表研究者	20名
6	同上	2009/8/22	同上	内閣府	講演会「生命科学の進展とモデル生物」	丸山一郎代表研究者	20名
7	OIST講演会	2009/10/22	恩納村立仲泊中学校	恩納村村興し協議会	研究紹介「身のまわりにある身近な数学」	ロバート・シンクレア代表研究者	90名
8	OIST講演会	2009/10/26	恩納村立恩納中学校	恩納村村興し協議会	研究紹介「ニューズ・ラント」内陸部のオタゴから沖縄県中部へ:研究者としての旅」	ゲイル・トリップ代表研究者	112名
9	OIST講演会	2009/10/29	恩納村立山田中学校	恩納村村興し協議会	研究紹介「自然界における自己相似性」	ジョナサン・ミラー代表研究者	70名
10	OIST講演会	2009/11/10	恩納村立安富祖中学校	恩納村村興し協議会	研究紹介「自然界における会社と社員～生物間の協調～」	ホルガー・イエンケコダマ代表研究者	安富祖中学校53名、喜瀬武原中学校12名
11	科学実験教室	2010/2/28	那覇市久茂地公民館	沖縄科学技術大学院大学設置促進県民会議	科学実験教室「くだものからDNAをとりだそう！」	メリー・アン・プライス代表研究者及び研究スタッフ	47名
12	第3回英語教育を考えるフォーラムin Okinawa	2010/3/20	浦添市産業振興センター	沖縄の英語教育を考える実行委員会	OIST概要	総務課課長補佐 照屋友彦	10名

(イベント)

No	プログラム	日付	場所	主催	内容	講演者	備考
1	おんなまつり	2009/7/18,19	恩納村コミュニティセンター	恩納村	ブース展示(キャンパス模型、ポスターパネル、OIST概要DVD上映)		
2	アジア青年の家	2009/8/22	沖縄県自治会館	内閣府	ブース展示(キャンパス模型、ポスターパネル、OIST概要DVD上映) 研究ポスター展示		76名
3	第33回沖縄の産業まつり屋内展	2009/10/23-25	沖縄県立武道館	沖縄の産業まつり実行委員会	ブース展示(キャンパス模型、ポスターパネル)		
4	OIST OPEN HOUSE 2009	2009/11/15	沖縄県工業技術センター	OIST、沖縄県	PIIによる講演、実験デモンストレーション、パネル展示、ラホツアー		471名
5	OIST パネル展示会	2010/3/15-26	沖縄総合事務局行政情報プラザ	OIST	キャンパス模型、ポスターパネル展示		287名
6	OIST パネル展示会	2010/3/19-29	モノレール県庁前駅	沖縄科学技術大学院大学設置促進県民会議	ポスターパネル展示		